

年間授業計画

高等学校 令和6年度（3学年用） 教科 地理歴史 科目 （必選）地理
教科：地理歴史 科目：（必選）地理 単位数：2 単位
対象学年組：第 3 学年 ① 組～ ② 組

使用教科書：（ 高等学校 新地理総合（帝国書院） ）

教科 地理歴史 の目標：
【知識及び技能】 世界および日本の諸地域を理解するのに必要な基礎的知識・技能を修得する。
【思考力、判断力、表現力等】 修得した知識・技能を活用して、諸事象を多角的に考察する。
【学びに向かう力、人間性等】 作業やグループ学習などに積極的に参加する。他国や他地域の事情を理解する。

科目 （必選）地理 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
・自然システムや社会・経済システムを理解する。 ・地理に関する情報を収集し、読み取る技能を修得する。 ・多様な世界と地球的課題を認識させる。	・地理に関わる諸事情の特色や関連について、多面的・多角的に考察する。 ・考察したことを効果的に説明したり議論したりする。	・自然システムや社会・経済システムについてや、地球的・地域的課題について意欲的に追求する態度を養う。 ・他国や他国の文化を尊重することを自覚する。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学期	地球上の位置と時差 ・地球上の位置と私たちの生活 ・時差と私たちの生活 地図の役割と種類 ・地球儀と地図 ・地理情報システムの活用 現代社会の国家と領域 ・現代世界の国家 ・日本の位置や領域	・地球儀や世界地図を活用して、地球上の任意の位置を緯度・経度によって示す。 ・時差について考え、計算できるようにする。 ・図法については端末を活用して調べる。 ・世界の国家や国境について理解する。 ・日本の領域についての特徴を理解する。	【知識・技能】 緯度経度の見方や時差の計算手順を修得する。 さまざまな図法の特徴を理解する。 国境の形態や日本の領域の特徴について理解する。 【思考・判断・表現】 緯度経度や時差が生活に与える影響や、さまざまな図法の特徴に合わせた利用法を考察する。 世界の国境をめぐる問題や日本が関わる領土問題について客観的に考察する。 【主体的に学習に取り組む態度】 時差の計算に積極的に取り組む。	○	○	○	16
	世界の地形と人々の生活 ・大地形と人々の生活 ・変動帯と人々の生活 ・安定地域と人々の生活 ・河川がつくる地形と人々の生活 ・海岸の地形と人々の生活 ・水河地形・乾燥地形・カルスト地形と人々の生活	・プレートテクトニクスについて理解する。 ・世界の陸地が、安定陸塊・古期造山帯・新期造山帯からなり、それぞれの特徴を理解する。 ・さまざまな小地形の特徴を理解する。 ・地形図から情報を読み取る技術を養う。	【知識・技能】 それぞれの大地形や小地形を比較する。 【思考・判断・表現】 日本の自然災害や防災について考察する。 それぞれの地形と生活との関わりを考察する。 【主体的に学習に取り組む態度】 考察したことを、身近な問題としてとらえる。 地形図の読み取りや新旧地形図の比較など、地理情報を積極的に活用する。	○	○	○	15
	定期考査			○	○		1
2 学期	世界の気候と人々の生活 ・気温・降水と人々の生活 ・大気大循環と人々の生活 ・世界の植生と気候区分 ・熱帯の生活 ・乾燥帯の生活 ・温帯の生活 ・亜寒帯・寒帯の生活	・世界の気候について、大気の大循環を踏まえ、熱帯、乾燥帯、温帯、亜寒帯、寒帯の分布を知る。 ・ケッペンの気候区分方法について理解する。 ・熱帯、乾燥帯、温帯、亜寒帯、寒帯について、それぞれの特徴を理解する。	【知識・技能】 気候表・雨温図・ハイサーグラフなどから気候の特徴を読み取る。 それぞれの気候の特徴を、植生・土壌・農業などで比較する。 【思考・判断・表現】 気候と人々の生活との関わりを考察する。 【主体的に学習に取り組む態度】 グラフや統計を積極的に活用する。	○	○	○	16
	経済成長による人々の生活の変化　ー東アジアー モンスーンの影響を受ける地域での生活　ー東南アジアー ヒンドゥー教と人々の生活の関わり　ーインドー イスラームと人々の生活の関わり　ー中央アジア・西アジア・北アフリカー 植民地支配の歴史と人々の生活の関わり　ーサハラ以南アフリカー 地域統合が人々の生活や産業に与える影響　ーヨーロッパー	世界の諸地域の生活・文化について、日本の生活・文化との共通性や異質性に着目しながら、自然環境や宗教や民族とともに、産業面からもその特色を知る。	【知識・技能】 諸地域の生活の特徴を比較する。 【思考・判断・表現】 世界の諸地域の生活を多角的に考察する。 日本の生活・文化との共通性や異質性に着目しながら考察する。 【主体的に学習に取り組む態度】 主題図やグラフ・統計を積極的に活用する。	○	○	○	15
	定期考査			○	○		1
3 学期	産業力が世界の生活文化に与える影響　ーアメリカ合衆国ー 移民の歴史と人々の生活の関わり　ーラテンアメリカー 乾燥した大陸と太平洋の島々での生活　ーオセアニアー	世界の諸地域の生活・文化について、日本の生活・文化との共通性や異質性に着目しながら、自然環境や宗教や民族とともに、産業面からもその特色を知る。	【知識・技能】 諸地域の生活の特徴を比較する。 【思考・判断・表現】 世界の諸地域の生活を多角的に考察する。 日本の生活・文化との共通性や異質性に着目しながら考察する。 【主体的に学習に取り組む態度】 主題図やグラフ・統計を積極的に活用する。	○	○	○	6

合計
70